

ご紹介にあたり

<治療の流れ>

- ① 初診・カウンセリング (30分)
レントゲン撮影 (2枚)、口腔内診査、治療計画および同意書説明
- ② 治療
 - 根管治療+築造 (症状に応じて通院1~3回:1回の予約時間60~90分)
 - 生活歯髄療法 (症状に応じて通院1~2回:1回の予約時間30~60分)
- ③ かかりつけ歯科医院にて治療 (仮歯作成、修復治療など)
- ④ 治療3ヶ月後に経過観察 (予後のチェック)
- ⑤ 予後の状態により
 - かかりつけ歯科医院にて治療 (修復治療)
 - 当院にて外科処置
- ⑥ 最終補綴完了後は、定期的 (3ヵ月~1年毎) に予後のチェックを実施 (約4年間)

<予後の分類>

1	予後良好 (Good)	外科的介入が必要になる可能性が低い
2	要注意 (Guarded)	外科的介入が必要になる可能性が高い
3	予後不安 (Questionable)	外科的介入によりマネジメント可能
4	予後期待できない (Highly questionable)	チャレンジング(診断的治療)
5	根管治療不可能 (Hopeless)	治療不可(垂直性歯根破折の視認・防湿不可)

患者さまの予後の分類として上記5つのカテゴリーに分けてご説明させていただいております。患者さまが説明に納得・同意をしたうえで治療を始めさせていただきたいと思っております。もし、患者さまが納得されない場合は、再度かかりつけの先生と治療計画について話し合いを行い納得した上で当院では治療を始めさせていただきたいと思っております。かかりつけ歯科医院と当院での説明の行き違いを防止するためにもご理解いただきたくお願い申し上げます。

<テンポラリークラウン (TEC) について>

テンポラリークラウンが必要な場合、テンポラリークラウンの維持とマージン適合状態の確保をお願い致します。治療中または治療期間中の薬液や細菌の漏えいがおこると予後不良や予期せぬ事故の原因となります。テンポラリークラウンの維持が困難な場合は当院において隔壁等適宜処置いたしますので除去していただいても構いませんのでご理解のほど宜しくお願い申し上げます。

<痛みの診断について>

痛みの原因が明らかな場合は可能な限り早めに対応させていただきますが、痛みの原因と処置歯の因果関係がはっきりしない場合や非歯原性の疼痛が疑われる場合は経過観察や顎顔面痛クリニックでの診査をしていただく事もございますので、ご理解の程宜しくお願い申し上げます。